



# 令和4年度とわだ子ども議会

7月26日、市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。

この「子ども議会」は、子どもたちが議会を模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年から行っています。

本年度は市内の小学6年生16人の子ども議員が参加し、12人が市政に対する質問を行い、4人が議長、副議長として議事進行を務めました。

通常の議会では、質問者に対して拍手できませんが、「子ども議会」では特別ルールが設けられ、市民の安全、人との交流、環境整備、教育など多岐にわたる素晴らしい質問や提案に、傍聴席から拍手が送られました。



▲子ども議員が書いた質問書に目を通し、うなずきながら熱心に耳を傾ける市長ら



▲子ども議会終了後、小山田久市長、北館康宏副市長、丸井英子教育長と当選証書を手記念撮影

## 議事進行を務めました



議長  
のろ しょうけい  
野呂 應亮くん  
(北園小)



議長  
むらい まゆ  
村井 真結さん  
(東小)



副議長  
まえば かお  
前山 佳緒さん  
(南小)



副議長  
くどう ひより  
工藤 陽依さん  
(三本木小)

緊張の中、大きな声ではっきりと話すのは難しいことだと感じ、実際の議長のすごさを知りました。市のために活動できたことを誇りに思います。

議場を隅々まで見渡すことができる議長席に座ると、常に広い視野を持ち議事進行する責任を感じました。広い視野で考え、より良い地域をつくる人になりたいです。

とても高い席で進行をして最初は緊張しましたが、「みんなも同じだから頑張ろう」と思い、落ち着いて練習の成果を発揮することができました。

議会の仕組みを理解することができました。本当の議員も市のために多くの質問をして、今よりも魅力のあるまちにしたいと思いました。

### 誰もが楽しく、安全・安心に暮らせるまち



① **質問** 災害時にも安心してペットと過ごすことができるように、マイクロチップの装着費用を支援してはどうか。  
**答弁** マイクロチップ装着には一般に3～5千円程度の費用がかかる。市では、費用の支援を行うのではなく、マイクロチップ装着のメリットについて周知を図り、飼い主が自ら装着を検討するように促したい。

### いろんな人と交流でき、仲間を増やせるまち



② **質問** 子どもから大人までが仲良く交流できる、球技場や迷路を備えた運動施設やカードゲームなどがある室内施設を造ってはどうか。  
**答弁** 志道館や市民文化センター、市民交流プラザ「タワーレ」などの施設があるほか、9月には地域交流センターもオープンする。皆さんのアイデアで施設活用の幅を広げ、仲間を増やす場として大いに活用してほしい。

### みんなが快適で平等に住めるまち



③ **質問** 市民交流プラザ「タワーレ」や新しくできる地域交流センターで毎月1回、誰でも参加できる勉強会を開き、差別的な習慣などについて話し合う機会を設けてはどうか。  
**答弁** 市では「とわだ市民カレッジ」を開催しているが、今後は橋議員ご提案の平等な社会を目指す視点や参加者同士で話し合うという点も参考にしたい。

### みんなが健康に楽しくごみをリサイクルできるまち



⑦ **質問** ごみ捨て場の隣にリサイクル用のごみ捨て場を設置してはどうか。  
**答弁** 新たにリサイクル用の収集ボックスを設置するのは場所の確保、維持管理、費用などの面で難しい。市では、コミュニティセンターなどで不要な衣類や小型家電を回収しているのご利用いただきたい。また、資源ごみ分別の徹底を呼び掛けたい。

### さまざまな意見の出る、みんなが意欲的なまち



⑧ **質問** 学校図書館の蔵書の量を増やし、司書教諭を雇用してはどうか。  
**答弁** 市では毎年、各小・中学校に皆さんが興味を持ちそうな新刊を購入している。学校の規模によっては司書教諭が配置されないが、図書担当の先生が中心となって読書活動を推進する。皆さんには、多くの本に触れ、知識や想像力を身に付けていただきたい。

### 地域に愛着を持ち、ずっと住んでいたいと思えるまち



⑨ **質問** 地域がいつまでも花や緑に囲まれているように「花と緑のコンクール」を開いてはどうか。  
**答弁** 市ではかつて「十和田市花壇コンクール」を実施していたが、その後、人々や地域に花と緑の輪を広げるという目的は「オープングリーンとわだ」という事業に引き継がれている。ぜひ足を運んでご観覧いただきたい。

### 誰もが安全に楽しく過ごすことができ、活気あふれるまち



④ **質問** 新しく住宅地を整備する際には歩道も一緒に整備するという決まりを作ってはどうか。また、歩道に花壇を設置してはどうか。  
**答弁** 生活道路に歩道を設置することは費用の面で難しい。また、町内会などの自主活動で歩道に花が植えられているが、このような取り組みが増えるようなまちづくりを進めたい。

### みんながもっと市の魅力を知り、誇れるまち



⑤ **質問** 市民が市の魅力を知ること、誇れるまちになり、活気あふれるので「十和田の魅力再発見プラン」(市内を巡るツアー)を作ってはどうか。  
**答弁** 久保田議員の提案のようなツアーは「十和田奥入瀬観光機構」が市と協力して実施している。市ではこれからも、市民が地域の良さを知り、誇りを持てるよう取り組みたい。

### その場所を通っているだけでうれしくなるまち



⑥ **質問** 通学路を明るくし、観光客を増やすために市民全体で石垣や道路などに絵を描いたり花を植えたりしてはどうか。  
**答弁** 市では、官庁街通りに花を植えたり、さまざまなアートを設置したり、多くの人が楽しめる取り組みをしている。道路に絵を描くことは安全上難しい。今後も通学路の環境整備などに引き続き取り組みたい。

### 観光客があふれる十和田市



⑩ **質問** 十和田湖の古いホテルやお店を撤去し、自然を生かしたアスレチックやキャンプ場を造ってはどうか。  
**答弁** 湖畔の古いホテルなどは国が管理する土地に建っており、国が計画的に撤去を進め、跡地の活用も市や地域の皆さんの意見を聞き検討している。市では附田議員の提案も含め、自然を生かした用途となるよう意見を出したい。

### みんなで協力しながら、環境がいい十和田市に



⑪ **質問** ごみ拾いや、季節に合った飾り付けなど、SDGsへの意識が高まる活動を市民みんなで取り組んでどうか。  
**答弁** 町内会などが自主的に清掃活動を行っているほか、奥入瀬渓流温泉スキー場のシバザクラやアート広場でのイルミネーションなど季節ごとの取り組みも行っている。今後はそのような活動の周知に努め、SDGsの意識が高まるよう取り組みたい。

### 大人になっても働きたいと思うまち



⑫ **質問** 商店街の一部を就業体験やさまざまな仕事を知る場として使ってはどうか。  
**答弁** 村館議員の通う三本木小では「未来を応援、夢わくわくスクール！」で商店街などでさまざまな仕事について学んでいると聞いている。また、市内中学校では「職場体験」を実施しており、この体験が将来市で働きたいと思うきっかけになると考えている。